

神戸市ソーシャルビジネス推進助成

平成30年度

活動報告会

令和元年6月23日

神戸市市民参画推進局市民協働課

目 次

(ページ)

【準備・創業期】

不登校で悩む児童や学生、家族、教育関係者が情報共有できるポータルサイト・・・	1
特定非営利活動法人 二求の塾	

【発展期】

フードピクトの認知向上とブランド強化に向けた広報活動と、小規模 事業者でも利用しやすい新たな商品・サービスの提供に向けた試作開発・・・	2
株式会社フードピクト	
フェニーチェパックによるインスペククシヨン普及促進事業・・・	4
一般社団法人 すまいの未来研究機構	
地域で育む！高齢者くらしのネットワーク・・・	6
認定 NPO 法人 はんしん高齢者くらしの相談室	

【準備・創業期】

団体名

特定非営利活動法人 二求の塾

事業名

不登校で悩む児童や学生、家族、教育関係者が情報共有できるポータルサイトの運営

実施期間

平成30年10月24日（水）～平成31年3月31日（日）

活動のねらい

学校に行きたくても行けない不登校の児童や学生に対して、インターネット上にポータルサイトを開設し、悩み相談や居場所探しができ、不登校生が社会復帰できるきっかけづくりを支援する。

実施した内容

1. ポータルサイト「フリースクールナビ」内の無料相談「心の声」を開設した。
2. ポータルサイト運営・マーケティング戦略に関する内部での打ち合わせを開催し、広報戦略等についてブラッシュアップを重ねた（計6回開催）。

達成された成果等

1. 当該助成を活用し、早期にポータルサイトを開設することができた。
2. 当該助成を活用し、広告会社にポータルサイトに係る運営・マーケティング戦略についてのアドバイスをもらうことで、当サイトの運営方針や広報戦略をブラッシュアップすることができた（全3項目実施）。
（参考）広告会社への依頼内容
（1）サイト内の掲載情報の見せ方について
（2）協力サポーターづくりについて
（3）ポータルサイトのPRについて
3. 当該サイトにアクセスしてほしい層（性別、年齢、地域等）や掲載するフリースクールの団体（教育方針、通っている子どものタイプ）を明確化することで、他のポータルサイトと差別化を図りつつ、事業を発展させることができた。

活動を通して団体に蓄積されたもの

1. マーケティングや広報の仕方を学ぶことで、ポータルサイトの運営ノウハウを学ぶことができた。

【発展期】

団体名

株式会社フードピクト

事業名

フードピクトの認知向上とブランド強化に向けた広報活動と、小規模事業者でも利用しやすい新たな商品・サービスの提供に向けた試作開発

実施期間

平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）

活動のねらい

フードピクトとは、世界で約3人に1人といわれるアレルギー・ベジタリアン・宗教上の理由により食べてはいけないものがある方も、使用食材を可視化することで、国籍を問わず安心して食べていただける食材表示のコミュニケーションツール。

1. フードピクト既存顧客（国内80社、755施設、1,400店）のネットワークを活かし、飲食事業者と一般消費者を対象にフードピクトの認知向上とブランド強化に向けた広報活動を実施する。
2. 小規模事業者でも利用しやすい新たな商品やサービスの提供に向けた試作開発を実施する。

実施した内容

1. フードピクトの認知向上に向けた広報ツールを製作し、配布した。
 - (1) パスポートサイズの「食べれません」指差しコミュニケーションカード
平成30年7月に1,000部、翌31年2月に追加で1,500部製作し、既存顧客に配布した。
 - (2) フードピクト採用店の店頭に掲示できるロゴステッカー
平成31年2月に1,000部製作し、既存顧客に配布した。
2. フードピクトのブランド強化に向けた広報ツールを製作し、随時活用を行った。
 - (1) バナースタンド
平成30年8月に1部製作し、各種展示会や取材対応時に活用した。
 - (2) 封筒
平成30年8月に長3封筒1,000部と角2封筒1,000部を製作し、随時活用した。
 - (3) 会社案内を最新版にリニューアル

平成31年3月に1,000部製作し、随時活用した。

3. 小規模事業者（パン屋やケーキ屋）でも利用しやすい商品を試作した。

イラストレーターを操作できない顧客でも利用できるよう、Word や Excel でも使用できるライセンスセットを平成30年12月に100部製作し、随時提供した。

達成された成果等

1. 飲食事業者に向けたフードピクトの認知度が向上し、ブランド強化に繋がった。

(1) ウェブ訪問者数は5,976名（前期比429%）と増加し、セッション数も増加した。

(2) ウェブからの問い合わせ件数も年間47件（前期比174%）と増加した。

(3) フードピクトのライセンス契約の顧客法人数は新規25社（前期比227%）、同売上は年間200万円（前期比498%）と増加した。

2. 一般消費者に向けたフードピクトの認知度が向上し、ブランド強化に繋がった。

(1) 指差し会話カードと店頭表示ロゴステッカーにより認知機会が拡大したため、海外からのウェブ訪問者数は年間897名（前年度比2,208%）と増加した。

(2) 平成30年12月から神戸市小学校給食献立表の使用食品一覧表対比表に採用された。

(3) 3月から2020公認プログラム「Diversity 多様性を彩るピクトグラム」に出展した。

(4) 2021年度の中学校「美術教科書（2社）」へ掲載される予定。

3. 小規模事業者でも利用しやすい新たな商品を開発し、サービスの提供を行った。

ワードやエクセル、パワーポイントでも使用できるデータ形式での提供を開始した。

活動を通して団体に蓄積されたもの

1. 飲食事業者に向けたフードピクトの認知度が向上し、ブランド強化に繋がった。

2. 一般消費者に向けたフードピクトの認知度が向上し、ブランド強化に繋がった。

今後の事業展開や展望等

1. 飲食事業者に向けたフードピクトの認知向上とブランド強化を継続して実施する。

2. 東京五輪でのフードピクト採用に向けて各所に働きかけを行い、実績を構築する。

(1) G20、ラグビーW杯等の事業者に対して商品を提案し、実績を構築する。

(2) 東京都及び都内企業、2020公認プログラムの事業者に対して商品を提案し実績を構築する。

3. 独自の価値提案と事業成長を牽引するサービスの開発を行う。

【発展期】

団体名

一般社団法人 すまいの未来研究機構

事業名

フェニーチェパックによるインスペククシオン普及促進事業

実施期間

平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）

活動のねらい

中古住宅売買時に、専門の建築士が対象となる住宅を訪問し、建物を調査し報告するインスペクシオンという取り組みを更に広める。

実施した内容

1. ホームページに建物状況調査アドバイザー募集説明会の告知ページ作成し、1年を通して随時更新していった（計8回分の講習会の告知を実施した）。
2. 建物状況調査アドバイザー説明会開催のため、FAX送付による広報活動を行った。

達成された成果等

神戸市内で年間を通して会議場所を調達し、計8回のインスペクシオン普及啓発セミナーを開催した。

（参考：開催日／参加人数）

4月18日／36名、5月23日／32名、6月20日／35名、

7月18日／19名、9月19日／6名、11月12日／11名、

1月23日／8名、3月20日／14名

活動を通して団体に蓄積されたもの

上記のとおりインスペクシオンの普及を啓発するセミナーを開催し、多くの宅建業者の皆様にご利用の促進を進めることができた。

今後の事業展開や展望等

1. 全体の展望として、インスペクシオンについてはまだまだ普及活動が必要であると感じている。
2. 宅建業者に対して、継続してインスペクシオンの活用を促進する普及セミナーを開

催していく。

3. 各行政機関と連携し、消費者向け、宅建業者向けのセミナーやイベントを開催していく。
4. 宅建業、リフォーム業の各業界団体と連携し、業界団体の会員向けにセミナーやイベントを開催する。
5. 兵庫県内や神戸市内に限らず、地域を広げたインスペクションの普及活動の可能性を検討する。

【発展期】

団体名

認定 NPO 法人 はんしん高齢者くらしの相談室

事業名

地域で育む！高齢者くらしのネットワーク

実施期間

平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）

活動のねらい

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、生活全般にかかる諸問題の包括的なサポートを行う目的で、セミナーや相談会等の高齢者支援活動を実施する。

実施した内容

1. 「いきいき！老後のくらしセミナー及び交流会」の実施（計7回開催）。
当 NPO の構成員が高齢者に対して、老後の暮らし役立つ情報提供を目的とするセミナーを開催した。また、当民間の専門業者及び他団体と連携したセミナーも複数回開催した。
2. 「老後のくらしに関するお役立ち出張セミナー」の実施（計11回開催）。
各地域の高齢者が集まる場所に出向き、医療・介護・法律・不動産等、老後を安心して暮らすための情報を提供した。
3. 「はんしん高齢者くらしのフェア」の開催（計2回開催）。
当 NPO の活動を広く周知する機会として、半年に1回のペースで開催した。

達成された成果等

高齢者や家族に向け「元気な間に終活を始める重要性」を伝えるため、自主開催に限らず、他団体と連携してセミナーを開催した。これにより、多くの高齢者に向け、「住み慣れた地域で、安心して老後をくらすために必要な情報提供」の機会を増やすことができた。

活動を通して団体に蓄積されたもの

顧客からの要望により、シリーズ化で開催した内容のセミナーもあった。また、一方的な情報提供だけでなく、個別具体的な相談も多数いただき、ニーズを再認識することができた。

今後の事業展開や展望等

1. 当 NPO 法人は医療や介護に限らず、法律・不動産・仏事・健康といった、老後のくらしに関する様々な分野の専門事業者が参画している。その特徴を活かし、広く当活動を周知しつつ、深く相手方のお困り事をサポートできると考えている。故に、今後はこれまで以上に行政、社会福祉協議会、地域活動団体との連携を深めていきたい。
2. 新たに医師会や薬剤師会といった団体とも連携していきたい。
3. セミナー開催だけでなく、地域での個別相談会も実施していきたい。